企業の発展を願い　従業員の成長を願う　その一歩一歩をアシストします

# Step Up

2018 年 8 月号 発行者：人事マネジメント研究所 進創アシスト　代表 鷹取敏昭 (人事コンサルタント，社会保険労務士，社会福祉士)
【無断転載・無断複写禁止】
携帯：090―3269―7712　E-mail：takatori@shinsou-assist.com

## これだけは押さえておきたい！ 人事労務の最新情報

～弊社ブログに、下記情報のリンクを貼っています～
http://shinsou-assist.blog.jp/

■働き方改革関連法が成立/岐阜労働局
https://jsite.mhlw.go.jp/gifu-roudoukyoku/news_topics/topics/topics_2017/1_00001.html
■働き方改革に取り組む企業は 38.9%/NTT データ経営研究所
http://www.keieiken.co.jp/aboutus/newsrelease/180712/index.html
■総合労働相談は 10 年連続 100 万件超､内容は「いじめ･嫌がらせ」が 6 年連続トップ～「平成 29 年度個別労働紛争解決制度の施行状況」/厚労省
http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000213219.html
■地域別最賃の改定目安を答申　加重平均 26 円は過去最高/中央最賃審議会
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000172722_00001.html
■精神障害の労災補償状況 請求件数･支給決定件数とも過去最高更新/厚労省
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00039.html
■勤務間インターバル制度の推進等が明記された過労死防止大綱の改定/厚労省
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000101654_00003.html
■「無期労働契約への転換」内容知らない有期契約労働者 68%/連合
https://www.jtuc-rengo.or.jp/info/chousa/data/20180628.pdf
■平成 30 年 9 月 30 日以降､(旧)特定労働者派遣事業が行えなくなります/厚労省
https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11600000-Shokugyouanteikyoku/0000178229.pdf
■成年後見制度利用促進ニュースレター第 5 号/厚労省
https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E-EwSjw85QdJdzOBY
■介護･看護離職者は 9 万 9,000 人/総務省
https://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index2.html
■「老人福祉･介護事業」の倒産、前年同期比 12.5%増/東京商工リサーチ
http://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20180709_06.html
■使用者から賞与に関する団体交渉についての相談/大阪府総合労働事務所
http://www.pref.osaka.lg.jp/sogorodo/konngetu/
■10 人に 1 人が「WEB 面接」を経験/マイナビ
https://www.mynavi.jp/news/2018/07/post_17605.html
■仕事での充実より、私生活を重視する傾向/ジェック
http://www.jecc-net.co.jp/team/md/2018S.pdf
■2018 年度新入社員「働き方は人並みで十分」61.6%/日本生産性本部
https://activity.jpc-net.jp/detail/mcd/activity001538.html
■若手社会人の意識調査、上司を尊敬 7 割超え/レジェンダ･コーポレーション
https://www.leggenda.co.jp/news/press-20180725-01.html
■「企業における福利厚生施策の実態に関する調査」結果を記者発表/JILPT
http://www.jil.go.jp/press/documents/20180724.pdf?mm=1415
■8 割の企業が賃上げ/東京商工リサーチ
http://www.tsr-net.co.jp/news/analysis/20180705_01.html
■アルバイト等の三大都市圏の 6 月度平均時給 1,031 円/リクルートジョブズ
http://www.recruitjobs.co.jp/press/pr20180712_1015.html
■「前職と比べ賃金が 1 割以上増加した転職決定者数の割合」30.1%/リクルートキャリア
https://www.recruitcareer.co.jp/news/pressrelease/2018/180723-01/
■ミドルの 3 割が「現在、副業をしている」/エン･ジャパン
https://corp.en-japan.com/newsrelease/2018/14115.html
■会社員の 54.6%が、自分が勤める会社を「昭和的」と評価/ワークスモバイルジャパン
https://line.worksmobile.com/jp/home/pr/20180724
■6 月の転職求人倍率、1.77 倍/リクルートキャリア
https://www.recruitcareer.co.jp/news/pressrelease/2018/180709-01/
■親の働く姿を見たことがある子供、将来働くことを楽しみに感じる傾向/アイデム
https://www.aidem.co.jp/company/topics/1168_d.html

## 人事マネジメントの視点

### ◆ 実は自分のことはわかっていない ◆

◇ 自分のことは自分が一番よくわかっている！？

「自分のことは自分が一番よくわかっている」という人がいるが、私は疑っている。その理由を話そう。

最近、あるパーソナルトレーニング（個人レッスン）を受けている。思うように成長できていないし、結果も残せていない。失敗続きもあったので切り替えを図るためだ。

そのトレーナーに指摘されることはいっぱい。えーっ！ぎゃふん！その連続だ。

挙句にビデオ撮影されて、それをまじまじと見せられることに。自分の声や話し方、身振り手振り、立ち振る舞い。

「俺ってこんなんだったのか？　なんじゃこりゃウソでしょ！」見ていられない。恥ずかしい。

◇ ビデオ撮影してみると

今はスマホやタブレットで簡単に撮影ができる。

「何で、スマホで動画撮影できるようになったんだ、開発したヤツを恨んでやる」と思ったことも。しかし、現実にあるんだから仕方ない。

話の語尾はむにゃむにゃで何を話しているのかわからない。～ので、～だから、～と思うんですが…と接続詞でつないで話が切れずに延々と続く。

この酷さをまず受け止めなければいけない。そこ改善につながると指導されたので、恥ずかしながら練習のためにビデオ撮影を続けている。他人には恥ずかしくてまだ見せられないが、それでも少しずつマシになってきている。

◇ 振り返ってみると「実は自分のことはわかっていない」

話は変わるが、私が講師を務める「人事評価・評価者研修」で、フィードバック面談をプログラムの中心においている。以前は事例を元に個人で検討。その後、グループで検討した上で、ロールプレイ演習を実施していた。最近、上のことを参考に、フィードバック面談のロープレをビデオ撮影して観察してもらっている。そうすると、自分の表情やしぐさ、話し方のクセなどに撮影された受講者は驚く。やはり恥ずかしいのだろう。さらに、評価後のフィードバック面談なので、その面談で部下に伝わる内容であるか考えてもらう。そうすると反省がたくさん出てくる。

ビデオを観察する前は伝わっている、理解してくれているはずだと思っていたのだが、後で観ると伝わっていそうにないことがわかる。

第三者からの意見やビデオ撮影などで客観的に自らを振り返ってみることはとても大事。

「自分のことは自分が一番よくわかっている」と思っているが「自分のことはよくわかっていない」ことを思い知るよい機会にしてもらえればと考え行なっている。

## マネジメント力を高める推薦書

『６時に帰るチーム術』　小室淑恵著 日本能率協会ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄｾﾝﾀｰ ￥1,500+税

（「はじめに」より）付加価値で勝負する時代には、社員は６時に帰らなければなりません。それは「ライフ」の時間を使って読書をしたり、勉強会に出たりなど、自己研鑽に励む必要があるからです。もしくは家事・育児、趣味などから「生活者の視点」を磨かなければならないからです。そのための時間がなければ「ワーク」におけるアイデア・創造性は豊かなものにはなり得ないのです。

「働き方改革関連法」が成立しましたが、著者はその前から働き方を見直し、ワークライフバランスが社員にとっても企業にとっても大事であると提唱してこられました。一読の価値ありお勧めです。